

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西三荘橋波土地東側ビル新	階数	地上4F
建設地	大阪府守口市橋波東一町	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年6月12日
敷地面積	2,124㎡	作成者	長谷秀人
建築面積	951㎡	確認日	2019年6月14日
延床面積	3,511㎡	確認者	上羽一輝



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.2
温熱環境	2.1
光・視環境	3.3
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

機能性	3.8
耐用性	2.7
対応性	4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.5
地域環境	3.0
周辺環境	2.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ピロティ空間やオープンスペース等、優れた歩行者空間を持ち、かつ植栽の活用により、周辺環境や街並みを調和を図る計画としている。 ・高断熱の建築計画、高効率な空調機器や照明設備を選定している。 ・将来対応可能なフレキシビリティの高い建築・設備計画としている。		その他 ・特になし
Q1 室内環境 ・吸音性の高い、天井、床材を採用している。 ・内部仕上げには、全面的にF☆☆☆☆のものを採用している。 ・断熱性の高い外壁、ガラスは複層とし、日射による空	Q2 サービス性能 ・天井高さや、一人当たりの執務スペースはゆとりのある空間を確保している。 ・維持メンテナンスが容易なものを採用している。 ・事務室はOAフロアの採用により、将来の更新にも配慮	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽を多く取り入れ、周辺建物と調和の取れたデザインとしている。 ・ピロティ空間やオープンスペースを連続させることで、周囲を調和の取れた外部景観を形成している。
LR1 エネルギー ・消費電力の少ないLED照明の採用をしている。	LR2 資源・マテリアル ・再利用が可能な資材の使用、またはリサイクル品を使用している。	LR3 敷地外環境 ・車両動線を明確化している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】		建物名称	(仮称)西三荘橋波土地東側ビル新築工事(南棟)					
		建設地	大阪府守口市橋波東之町					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.0	3		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								